

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立邑久高等学校		
実践者等	矢野祥子	実践日	令和3年10月26日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	国語の授業		
対象生徒(学年等)	3年次		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	国語・現代文B		
使用したアプリ等	Classroom、Forms		
実践の概要(ねらい等)	(1) 語彙力を養成する小テストを端末で実施する。 (2) 要約練習を行う際に端末を使用することで、キーセンテンスの選択や接続、文章の推敲を行いやすくする。		
実践の内容			
(1) 語彙力の向上 ①昨年度から使用している教材「ことのは」を再度プリントにて個別学習 ②端末にログインしてClassroomの「3-1国語」グループに参加し、示されているリンクをクリックして、Formsの小テストを受験 ③各自で正誤の確認と復習をした後、全体での振り返り			
			
(2) 要約練習 ①本時の目標と内容について説明 ②教材の文章を読みながらキーセンテンスに線を引く(個別) ③段落ごとに内容とキーセンテンスの確認(全体) ④端末にログインしてClassroomのグループに参加し示されているリンクをクリックして、指定したFormsを開く ⑤設問に解答→全体で共有・解説 ⑥要約のキーセンテンスを選択し、それを使って要約を入力→全体で共有・添削			
(3) 成果 ①語彙力を養成する小テストを端末で行うことで、生徒の意欲の向上につながっている。すぐに正解が確認できて復習しやすいことに加え、クラス全体で誤答の多いものを共有することができ、平均点も向上しつつある。 ②要約練習を行う際に端末を使用することで、キーセンテンスの選択や接続、文章の推敲が行いやすく、意欲的に要約に取り組めることで、文章構成力が向上する。			
参考となるHP等			